

一般質問



水害対策について



こなんの未来 ● 奥村 幹郎 議員

問 内水氾濫への備えについて

答 本市ではこれまで、浸水被害が発生した個別地域において、排水路や雨水幹線の整備、既存施設の維持管理、流下能力の調査などを進めてきました。

今後は、令和8年3月策定の※『雨水出水想定区域図』データをもとに、浸水リスクの高い優先順位を定め、より効果的・重点的な対策を進めていきます。
※『湖南市雨水出水想定区域図』で検索できます。

問 側溝や水路の日常点検・清掃は。

答 総延長が約330kmに及ぶため一律に点検・清掃は困難です。道路パトロール等日常的な確認に加え、市民の皆様からの通報やご要望により速やかに現地を確認し、必要に応じて清掃や補修等の対応を行っています。

問 盛土・埋立地等の安全管理は。

答 規模の大きい10か所については、年1〜2回擁壁のズレや路面の亀裂などを点検し、県へ報告を行っています。

問 三雲荒川下流域農業用水との共用水路について

答 三雲地先から吉永地先への『三吉水路』については、農業用水と雨水排水機能を兼ねており、大雨時の水位上昇や過去の越水や道路冠水等を市としても重く受け止めています。
現在吉永地先に入る周辺で開発計画が進められており、これを契機にかねてから懸案であった冠水対策や既存『三吉水路』の課題解決を図るよう関係者と協議・調整を進めています。



予防接種について



湖南市公明党議員団 ● そえだ 悦子 議員

水難事故対策について

問 市として継続して発信していくべきではないか。

答 学校での授業も含め、幼児期からの家庭教育や地域への社会教育など各関係機関が連携しながら、危険性への認識を高めていくために、様々な機会に継続的に注意喚起や啓発に取り組んで行きます。

予防接種について

問 RSウイルス感染症は、高齢者や既往症のある方にはリスクが高いことを周知し、妊婦だけでなく、公費助成を考えては。

答 感染時に感冒症状で特徴がなく診断が困難であり、飛沫感染や接触感染によるので、流行時にマスクの着用や手洗いなど基本的な感染対策についての周知が重要であると考ます。

問 带状疱疹ワクチンが定期接種になったが、助成が個別通知のあった年度に限ることや年度内に接種する条件が浸透されていないのでは。

答 通知文の内容、記載方法について検討します。

湖南市図書館基本計画

問 3月に計画を策定できるのか。

答 目標としています。

問 庁舎周辺整備事業に図書館基本計画の内容は反映されるのか。

答 目的や役割が異なることから直接反映するものではありませんが、魅力的な都市空間で連携事業を行うことで、市民の交流や文化活動の促進につながることを期待できることから、計画等を策定段階から共有し進めていきます。